



## 沼津高架P I プロジェクトのまとめ

沼津高架P I プロジェクト報告会(2013. 12. 21)



## 沼津高架P I プロジェクトレポート I. P I プロジェクトの背景と目的

レポート  
P1

### 1. P I プロジェクト発足に至る背景

- 平成23年 6月
  - 「沼津駅付近鉄道高架事業に関する有識者会議」が報告書公表
  - 静岡県が「沼津駅付近鉄道高架事業推進方針」公表

合意形成にあたり、市民参加型計画策定手法であるP I 方式を導入し、専門家の協力を得て、手続きを含めて議論していく。

- 平成24年 4月 ～ 平成25年11月15日
  - P I 活動（石田委員長から知事にP I 委員会報告書を手交して終了）



# 沼津高架P I プロジェクトレポート

## I. P I プロジェクトの背景と目的

### 2. P I プロジェクトの目的

- 市民や関係者（ステークホルダー）とのコミュニケーションを図り、市民ニーズを把握、反映しながら計画の検討を進め、沼津駅付近鉄道高架事業等を方向付ける**意思決定のための判断材料**を得ること。

# 沼津高架P I プロジェクトレポート

## II. P I プロジェクトのビジョンとプロセス

### 1. P I プロジェクトのビジョン

- 地域や個人にとっても、公共の利益にとっても**相互に価値のある解決策**を模索する。
- P I の基本理念のもと、二項対立的状況を脱却し、**互恵的解決**を目指す。

#### 【P I の基本理念】

- 「不幸を生まない」解決策の模索
- 沼津中心市街地の活性化と拠点地区まちづくりの推進
- 次世代につながる社会資本の整備
- 建設的、協調的、自律的、公正な議論と信頼構築

# 沼津高架PIプロジェクトレポート

## Ⅱ. PIプロジェクトのビジョンとプロセス

### 2. PIプロジェクトのプロセス

- 議論が混乱しないよう、段階的にステップを踏み、一つ一つ確認しながら進めるプロセスとした。

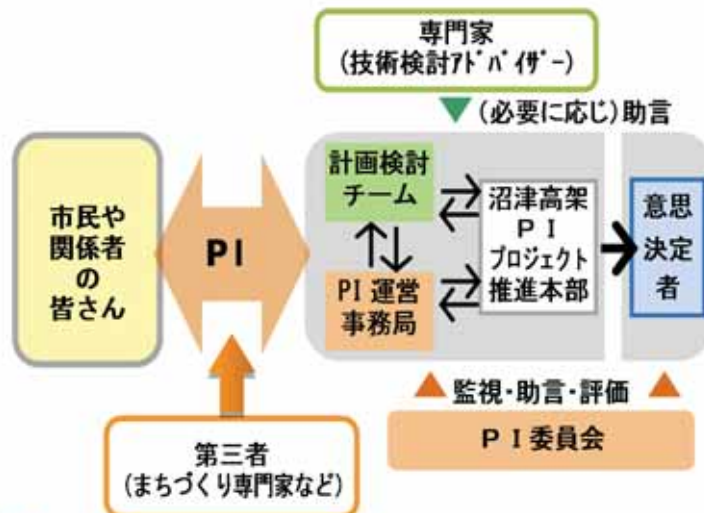


# 沼津高架PIプロジェクトレポート

## Ⅱ. PIプロジェクトのビジョンとプロセス

### 2. PIプロジェクトの体制

- PIプロジェクトを透明、公正に進めるための役割分担



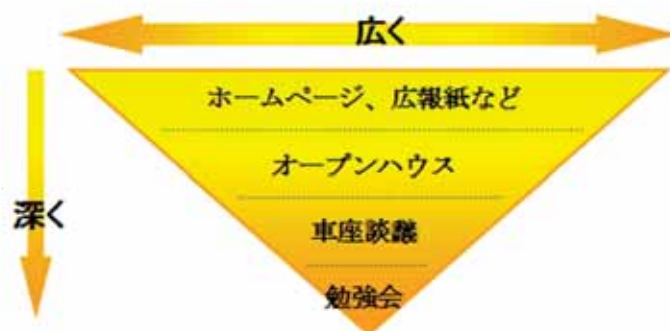
# 沼津高架PIプロジェクトレポート

## Ⅲ. PIプロジェクトでのコミュニケーション

レポート  
P3~5

### 1. コミュニケーション手法

- 勉強会
- 車座談議
- オープンハウス
- 広報誌(ニューズレター)
- ホームページ・Facebook



# 沼津高架PIプロジェクトレポート

## Ⅳ. 計画検討

レポート  
P6~7

### 1. 地域づくりの目標

ステップ2

#### ①広域的な地域づくりの目標

→ 拠点、交流、戦略、財政と事業効果

#### ②沼津駅周辺地区の地域づくりの目標

→ 暮らし、交流、産業・雇用、交通、防災

#### ③原地区の地域づくりの目標

→ 暮らし、交流、産業・雇用、交通、防災

2. 代替素案（論点ごと）

ステップ3

①広域的な代替素案

沼津市内に  
鉄道貨物駅  
がある

A 原地区に移転する場合

B 現位置で存続させる場合

※ 鉄道高架化をしない場合

市内にない

C 近傍駅へ統合する場合

その他

D その他の場合



②沼津駅周辺地区の地域づくりの戦略案（代替素案）

総合  
整備型

沼A-1

- ・総合整備事業
- ・鉄道高架化

沼A-2

- ・総合整備事業
- ・鉄道高架化
- ・土地建物の高度利用

沼A-3

- ・現貨物駅存続
- ・鉄道高架化
- ・土地建物の高度利用

個別  
対応型

沼B-3  
沼B-4

- ・南北道路立体化（1本or2本）
- ・橋上駅
- ・幅広自由通路
- ・土地建物の高度利用

沼B-5

- ・橋上駅
- ・自由通路
- ・土地建物の高度利用

沼B-7

- ・車両基地移設
- ・橋上駅
- ・自由通路
- ・土地建物の高度利用

沼B-6

- ・橋上駅
- ・自由通路



③原地区の地域づくりの戦略案（代替素案）

貨物駅  
あり

原A 物流機能を活用した全体整備案

- ・原地区全体を新たな拠点地区として位置づけ、あらかじめ計画的な土地利用を想定

貨物駅  
なし

原B 種地を活かした先行的機能導入案

- ・原地区全体を新たな拠点地区として位置づけ、あらかじめ計画的な土地利用を想定

原C 小規模整備案

- ・鉄道貨物予定地のみを整備範囲を限定



3. 代替案（パッケージ）

ステップ4

	原A	原B	原C
沼A-1	代替案1	代替案3	代替案6
沼A-2	代替案2	代替案4	代替案7
沼A-3	—	代替案5	代替案8
沼B-3	—	代替案9	代替案12
沼B-4	—		
沼B-5	—	代替案10	代替案13
沼B-6	—		
沼B-7	—	代替案11	代替案14

現 計 画

趨勢比較ケース

IV. 計画検討

4. 評価項目

ステップ3・4

評価項目(項目数)	地域づくりのポイント	項目数
広域的な観点から(9)		9
沼津駅周辺地区(17)	① 賑わい・活力・持続性	7
	② 産業立地と雇用機会	2
	③ 交流を支える移動性とアクセス	6
	④ 安全で安心な地域	2
原地区(17)	① 誇りである文化と景観の活用	4
	② 農や自然と共存した産業・暮らし・賑わい	7
	③ 新たな地域づくりを支える基盤づくり	6

全43項目



IV. 計画検討

5. 比較評価

詳細に比較評価する代替案

ステップ5

	原A	原B	原C
沼A-1	代替案1	代替案3	代替案6
沼A-2	<u>代替案2</u>	<u>代替案4</u>	<u>代替案7</u>
沼A-3	—	代替案5	代替案8
沼B-3	—	<u>代替案9</u>	<u>代替案12</u>
沼B-4	—		
沼B-5	—	<u>代替案10</u>	<u>代替案13</u>
沼B-6	—		
沼B-7	—	代替案11	代替案14

### 6. 選定 推奨案の候補として選定する案

### ステップ6

	原A	原B	原C
沼A-1	代替案1	代替案3	代替案6
沼A-2	<b>代替案2</b>	<b>代替案4</b>	代替案7
沼A-3	—	代替案5	代替案8
沼B-3	—	<b>代替案9</b>	代替案12
沼B-4	—		
沼B-5	—	<b>代替案10</b>	代替案13
沼B-6	—		
沼B-7	—	代替案11	代替案14



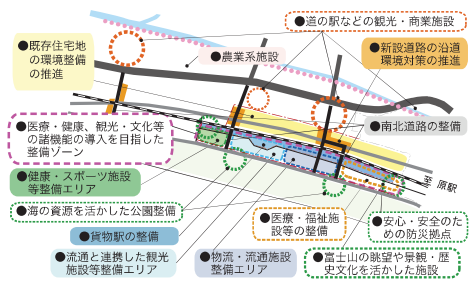
### ● 代替案2

両地区に大きな投資効果を狙う案  
 沼津駅周辺：総合整備事業を進展  
 原地区：拠点地区に位置づけ  
 （貨物駅の物流機能を活用）



沼A-2案 鉄道高架のイメージ

	原A	原B	原C
沼A-1	代替案1	代替案3	代替案6
沼A-2	<b>代替案2</b>	<b>代替案4</b>	代替案7
沼A-3	—	代替案5	代替案8
沼B-3	—	<b>代替案9</b>	代替案12
沼B-4	—		
沼B-5	—	<b>代替案10</b>	代替案13
沼B-6	—		
沼B-7	—	代替案11	代替案14



原A案 物流機能を活用した全体整備案





# 沼津高架P I プロジェクトレポート

## IV. 計画検討

### ● 代替案4

両地区に大きな投資効果を狙う案

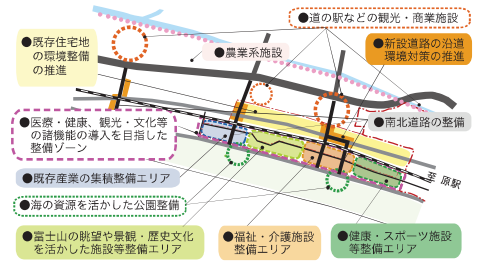
沼津駅周辺：総合整備事業を進展

原 地 区：拠点地区に位置づけ  
(貨物駅予定地を種地として活用)



沼A-2案 鉄道高架のイメージ

	原A	原B	原C
沼A-1	代替案1	代替案3	代替案6
沼A-2	代替案2	代替案4	代替案7
沼A-3	—	代替案5	代替案8
沼B-3	—	代替案9	代替案12
沼B-4	—	—	—
沼B-5	—	代替案10	代替案13
沼B-6	—	—	—
沼B-7	—	代替案11	代替案14



原B案 種地を活かした先行的機能導入案

# 沼津高架P I プロジェクトレポート

## IV. 計画検討

### ● 代替案9

両地区に大きな投資効果を狙う案

沼津駅周辺：総合整備事業を

実施しないで課題解決

原 地 区：拠点地区に位置づけ  
(貨物駅予定地を種地として活用)

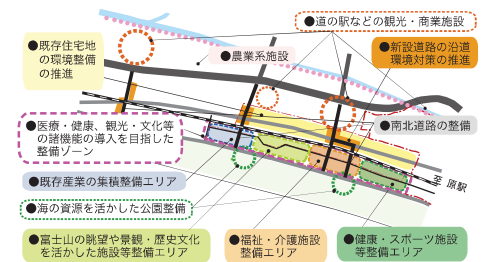


三ツ目ガード オーバーパスのイメージ



沼津駅 橋上駅のイメージ

	原A	原B	原C
沼A-1	代替案1	代替案3	代替案6
沼A-2	代替案2	代替案4	代替案7
沼A-3	—	代替案5	代替案8
沼B-3	—	代替案9	代替案12
沼B-4	—	—	—
沼B-5	—	代替案10	代替案13
沼B-6	—	—	—
沼B-7	—	代替案11	代替案14



原B案 種地を活かした先行的機能導入案

### ● 代替案10

原地区を重点整備する案

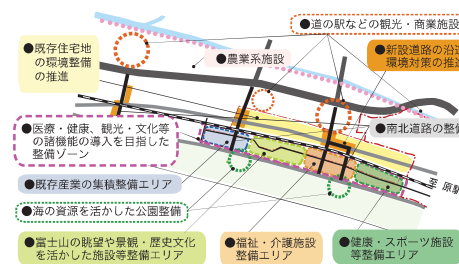
沼津駅周辺：整備を限定

原地区：拠点地区に位置づけ  
(貨物駅予定地を種地として活用)



沼津駅 自由通路のイメージ

	原A	原B	原C
沼A-1	代替案1	代替案3	代替案6
沼A-2	代替案2	代替案4	代替案7
沼A-3	—	代替案5	代替案8
沼B-3	—	代替案9	代替案12
沼B-4	—	代替案10	代替案13
沼B-5	—	代替案11	代替案14
沼B-6	—	代替案11	代替案14
沼B-7	—	代替案11	代替案14



原B案 種地を活かした先行的機能導入案

### 1. P I 委員会の役割

- P I プロジェクトが透明で公正に進められているかを監視し、助言・評価する。

#### 【P I 委員会による監視、助言・評価の視点】

- (1) 多様な利害や関心を調整して互恵的な解決を模索しているか
- (2) どのステップの検討をしているか明確にしながら進めているか
- (3) 議論が混乱しないよう各ステップの趣旨に応じた検討を行っているか
- (4) 多様な利害や関心を踏まえた上で目的や代替案、評価項目を設定しているか
- (5) 市民や関係者との多重多層のコミュニケーションを行っているか
- (6) 積極的かつ適切に情報提供しているか、十分意見を聴き論点を把握しているか
- (7) P I 委員会の助言を踏まえて、適切にP Iを実施しているか

# 沼津高架P I プロジェクトレポート

## V. P I 委員会からの助言と評価

### 2. P I 委員

- |   |                    |                    |
|---|--------------------|--------------------|
| ○ | いしだ はるお<br>石田東生    | 筑波大学システム情報工学研究科教授  |
|   | しろやま ひであき<br>城山英明  | 東京大学公共政策大学院教授      |
|   | たかい か え こ<br>高井佳江子 | 弁護士（横浜弁護士会 所属）     |
|   | てらべ しんたろう<br>寺部慎太郎 | 東京理科大学理工学部土木工学科准教授 |
|   | まつうら まさひろ<br>松浦正浩  | 東京大学公共政策大学院特任准教授   |
|   | め か た もとこ<br>目加田説子 | 中央大学総合政策学部教授       |

（敬称略、五十音順、○：委員長）

# 沼津高架P I プロジェクトレポート

## V. P I 委員会からの助言と評価

### 3. 活動実績

- P I 委員会 全12回開催
- P I 活動（勉強会、車座談議、オープンハウス）の視察

### 4. 技術アドバイザーの推薦

- 助言「技術的検討内容に対し第三者の専門家から指導・監査を仰ぎ、公正で客観的な検討に心がけるべき」  
→ 4名の技術アドバイザーを推薦

# 沼津高架P I プロジェクトレポート

## V. P I 委員会からの助言と評価

### 5. 助言と評価

- 「P I 委員会による監視、助言・評価の視点」に基づき、P I プロジェクトの進め方について助言を受け、それらに対応した。

#### 【P I 委員会による監視、助言・評価の視点】（再掲）

- (1) 多様な利害や関心を調整して互恵的な解決を模索しているか
- (2) どのステップの検討をしているか明確にしながら進めているか
- (3) 議論が混乱しないよう各ステップの趣旨に応じた検討を行っているか
- (4) 多様な利害や関心を踏まえた上で目的や代替案、評価項目を設定しているか
- (5) 市民や関係者との多重多層のコミュニケーションを行っているか
- (6) 積極的かつ適切に情報提供しているか、十分意見を聴き論点を把握しているか
- (7) P I 委員会の助言を踏まえて、適切にP I を実施しているか

# 沼津高架P I プロジェクトレポート

## V. P I 委員会からの助言と評価

### 【評価】

- ステップごと、テーマを絞った議論
- 多重多層のコミュニケーション
- 直接対話による意見把握、ニーズに注目した意見整理
- 公正、客観性の確保、議論の効率化



- 相互理解が深められ、共通点が見出された結果、数案まで絞り込むことができた。
- 賛否論から脱却し、（ある程度は）考え方の共有化が図られた。

# 沼津高架P I プロジェクトレポート

## VI. 技術検討アドバイザーからの助言と監査

### 1. 技術検討アドバイザーの役割

- 計画検討チームが行う技術的な計画検討等に対する指導助言を行うとともに、検討結果に対する監査を行う。
- 助言と監査を通じ、検討の前提や使用データの適切性、評価分析方法の妥当性等について確認し、判断材料としての適切性を高める。

# 沼津高架P I プロジェクトレポート

## VI. 技術検討アドバイザーからの助言と監査

### 2. 技術検討アドバイザー

いで たかこ  
井出多加子 成蹊大学経済学部経済経営学科教授

いわくませいじ  
岩倉成志 芝浦工業大学工学部土木工学科教授

たにぐちまもる  
谷口守 筑波大学システム情報系社会工学域教

ひびの なおひこ  
日々野直彦 政策研究大学院大学准教授

(敬称略、五十音順)

